

— 株主の皆様とのコミュニケーションツール —

クラレ通信

第131期

2011年4-9月期 報告書

2011年4月1日～2011年9月30日

CONTENTS

- 1 … 会社概要
- 2 … 株主の皆様へ
- 3 … 2011年度 4月-9月期 決算概況
／通期業績予想
- 5 … [特集1]
インプレン系事業の
展望について
- 7 … [特集2]
バリア系ミラバケツソ(エパール)
をご紹介します
- 9 … クラレグループトピックス
- 11 … 財務情報
- 13 … 株式情報
- 14 … お知らせ

株式会社 クラレ

■社名 株式会社 クラレ

■英文社名 KURARAY CO., LTD.

■設立 1926(大正15)年6月24日

■資本金 890億円(2011年9月30日現在)

■東京本社 〒100-8115 東京都千代田区大手町1-1-3
 大手センタービル
 TEL(03)6701-1000 FAX(03)6701-1005

■大阪本社 〒530-8611 大阪市北区角田町8-1
 梅田阪急ビル オフィスタワー
 TEL(06)7635-1000 FAX(06)7635-1005

■ホームページ <http://www.kuraray.co.jp/>

■クラレグループの主な事業

樹脂

ポバール樹脂・フィルム、PVB樹脂・フィルム、
 EVOH樹脂・フィルムの製造、販売

化学品

メタクリル樹脂、イソブレン系化学品、ポリアミド樹脂、
 メディカル関連製品の製造、販売

繊維

ビニロン、人工皮革、不織布、面ファスナー、
 ポリエステル繊維の製造、販売

トレーディング

繊維製品、樹脂、化学品の輸出入、卸売

その他

活性炭、水処理用高機能膜・システムの製造、販売、
 エンジニアリング事業

■役員(2011年9月30日現在)

代表取締役会長	和久井 康明
代表取締役社長	伊藤 文大
取締役/専務執行役員	蛭川 洋一
取締役/専務執行役員	片岡 史朗
取締役/常務執行役員	村上 敬司
取締役/常務執行役員	天雲 一裕
取締役/常務執行役員	山本 恭寛
取締役/常務執行役員	山下 節生
取締役	青本 健作*1
取締役	塩谷 隆英*1

常勤監査役	田中 隼介
常勤監査役	真鍋 光昭
監査役	小野寺 弘夫*2
監査役	山田 洋暉*2
監査役	藤本 美枝*2

常務執行役員	川原崎 雄一
執行役員	柳田 登
執行役員	前田 公平
執行役員	竹村 眞三
執行役員	長友 紀次
執行役員	福盛 孝明
執行役員	マティアス グトヴァイラー
執行役員	山田 修
執行役員	武本 修一
執行役員	綾 友幸
執行役員	雪吉 邦夫
執行役員	藤井 信雄
執行役員	小野寺 正憲
執行役員	松山 貞秋

*1 青本 健作、塩谷 隆英は、社外取締役です。

*2 小野寺 弘夫、山田 洋暉、藤本 美枝は、社外監査役です。

(注) 1.この冊子に記載した当社財務データはすべて連結ベースです。

2.この冊子に記載の()をつけた名称は、当社グループの製品の商標です。

3.この冊子に記載した億円単位の当社財務データ(実績値)は、億円未満を四捨五入して表示しています。



代表取締役社長
伊藤 文大

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素はクラレグループをご支援いただき、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間(2011年4月1日～2011年9月30日)の経営環境は、前半こそ好調に推移したものの、後半は欧州の金融危機、米国の景気後退により先行き不透明感が強まりました。さらに、好調に推移していた新興国経済も調整局面に入りました。日本経済も震災からの復興が進みつつありますが、一方では原燃料の高止まり、円高の進行が懸念される状況となっています。

こうした中で当社は、震災影響により停止していた鹿島事業所の早期再開を果たし、また原燃料価格上昇に対応した価格改定を実施してきました。さらに中期アクションプラン『GS-Twins』(2009年度～2011年度)に掲げた事業拡大、成長に向けた積極的な施策も順次実行しています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比49億円(2.7%)増の1,856億円、営業利益は39億円(15.3%)増の294億円、経常利益は40億円(15.9%)増の290億円、四半期純利益は33億円(23.7%)増の172億円と増収増益となり、利益の各項目は過去最高を更新することができました。

『GS-Twins』の最終年度にあたる本年度は、年間売上高3,900億円、営業利益600億円、経常利益585億円、当期純利益340億円を目指し、「コア事業の世界戦略の加速」「新事業の創出・拡大」を重点課題として取り組んでいます。

その一環として、北米におけるガスバリア性樹脂<エバル>生産設備増強、国内での光学用ポリアルフィルム生産設備増強などのコア事業強化策、中国でのアクアビジネスの本格展開に向けた合弁会社の設立、国内でのアクリル系熱可塑性エラストマー<クラリティ>生産設備稼働開始などの新事業拡大策を推進しています。

また、当社は株主に対する利益配分を経営の重要課題と位置付けており、『GS-Twins』期間においては連結当期純利益に対する配当性向30%以上を目標とし、持続的な業績向上を通じた増配を目指しています。この方針に基づき、中間配当金は、前年同期実績の13円から3円増配の16円とさせていただきます。なお、当期の年間配当金についても、予想連結当期純利益340億円を前提に、前年実績の27円から6円増配の33円(配当性向33.8%)とさせていただきます。

皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

伊藤文大

2011年4-9月期決算概況／通期業績予想

2011年4-9月期決算概況

当第2四半期連結累計期間の経営環境は、欧州の金融危機、米国の景気後退により先行き不透明感が強まりました。さらに、好調に推移していた新興国経済も調整局面にあります。日本経済もデフレが深刻化する中、円高の進行も加わり予断を許さない状況にあります。

こうした中で当社グループは、震災影響により停止していた鹿島事業所の早期再開を果たし、また原燃料価格上昇に対応した価格改定を実施してきました。

上期業績(セグメント別)

(億円)

	2011年度上期		2010年度上期		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
樹脂	775	259	748	252	+27	+7
化学品	389	52	375	34	+14	+17
繊維	296	6	306	1	△10	+5
トレーディング	568	18	579	15	△11	+3
その他	337	30	275	24	+63	+6
調整額	△509	△71	△474	△72	△35	+1
合計	1,856	294	1,808	255	+48	+39

第2四半期連結累計期間の平均為替(実績)は米ドル80円、ユーロ114円、国産ナフサ58千円/KLでした。

セグメント別の状況

樹脂

液晶関連を除き、欧米・アジア市場全般で、需要が堅調に推移しました。その結果、売上高は77,540百万円(前年同期比3.6%増)、営業利益は25,910百万円(同2.7%増)となりました。

- ① ポバール樹脂は、欧州市場向けの伸びが鈍化しましたが、新興国向けをはじめとして付加価値品が伸長しました。光学用ポバールフィルムは、期後半の液晶テレビ不振の影響を受け、前年同期比ほぼ横ばいで推移しました。なお、当事業の中期的な需要の伸びに対応するため、西条事業所でのさらなる新ラインの増設(年産3,200万㎡、2013年6月稼働予定)を決定しました。PVBフィルムにおいても、需要は堅調でした。
- ② EVOH樹脂(エバール)は、欧米、新興国ともに、食品包装用途、ガソリンタンク用途が順調に推移しました。

化学品

一部の事業が震災による生産停止の影響を受けましたが、総じて堅調に推移しました。さらに原燃料価格高騰に伴う価格改定に重点的に取り組みました。その結果、売上高は38,931百万円(前年同期比3.8%増)、営業利益は5,156百万円(同50.8%増)となりました。

- ① メタクリル樹脂は、シートおよび成形材料が好調に推移しました。また、市況改善も加わり収益が拡大しました。
- ② イソブレンは、熱可塑性エラストマー(セプトン)、液状ゴム(LIR)ともに堅調に推移しました。また、化学品は一部の製品で震災の影響が残りましたが、ファインケミカルが期を通じて堅調に推移しました。
- ③ 耐熱性ポリアミド樹脂(ジェネスタ)は、期後半より原燃料高の影響を受けました。また、震災の影響にLED反射板用途の不調が加わり減収となりましたが、新規分野開拓等により利益は確保しました。
- ④ メディカルは、2011年4月をもって事業統合した株式会社ノリタケデンタルサプライの歯科材料事業が加わり、堅調に推移しました。

2011年度 通期業績予想

2011年度後半の経営環境は、欧米の経済をはじめ不透明な状況にあります。このような情勢に加え、売上高については、為替の影響から年初予想時より減少すると見込まれるため、通期の連結業績予想を以下のとおり修正します。

繊維

ビニロンが好調に推移した反面、一部事業では依然として需要の停滞が続きました。その結果、売上高は29,560百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益は616百万円（同631.0%増）となりました。

- ①ビニロンは、一次電池セパレータ用途、自動車用ブレーキホース用途が順調に推移しました。さらに、アスベスト代替のFRC（繊維補強セメント）用途も需要が拡大しました。
- ②人工皮革（クラリーン）は、ランドセル用途が好調に推移し、新プロセス品も靴・インテリア用途等に徐々に浸透しつつあり、赤字幅を縮小しています。なお、当事業は引き続き抜本的な事業構造の改革に取り組んでいます。
- ③不織布（クラフレックス）は、ウェットワイプが堅調ながら、業務用カウンタークロスや産業用マスクの需要が停滞しました。

トレーディング

一部事業で震災の影響を受けましたが、ポリエステルをはじめとする繊維関連事業において差別化素材が伸長しました。その結果、売上高は56,795百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は1,752百万円（同16.3%増）となりました。

その他

活性炭が、浄水・キャパシタ（蓄電装置）用途等で好調に推移しました。それ以外の事業も概ね堅調に推移しました。その結果、売上高は33,713百万円（前年同期比22.7%増）、営業利益は2,984百万円（同23.9%増）となりました。

通期業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(円銭)
前回発表予想(A) (2011年4月27日)	400,000	60,000	58,500	34,000	97.63
今回修正予想(B)	390,000	60,000	58,500	34,000	97.62
増減額(B-A)	△10,000	-	-	-	
増減率	△2.5%	-	-	-	
前期(2011年3月期)実績	363,191	53,095	51,062	28,742	82.55

通期業績予想(セグメント別)

(億円)

	売上高			営業利益		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
樹脂	775	805	1,580	259	266	525
化学品	389	456	845	52	63	115
繊維	296	324	620	6	4	10
トレーディング	568	592	1,160	18	17	35
その他	337	368	705	30	30	60
調整額	△509	△501	△1,010	△71	△74	△145
合計	1,856	2,044	3,900	294	306	600

第3四半期以降の平均為替は米ドル77円、ユーロ105円、国産ナフサ価格は50千円/KLを前提としています。

イソプレン系事業の展望について ~オンリーワン製



取締役・常務執行役員 化学品カンパニー長 山本 恭寛

Q1 イソプレン系事業とは？

イソプレン系事業とは、鹿島事業所でイソブチレンから生産される炭素数5のイソプレン骨格を有する化合物ならびにその誘導体に関する事業のことです。

当社は天然ゴムと同じ分子構造を持つポリイソプレンの合成技術を開発し、1972年に鹿島事業所で操業を開始しました。モータリゼーションの到来によってタイヤに用いられるゴムの需要拡大が見込まれていましたが、翌年に第一次オイルショックに見舞われ、天然ゴムに対する競争力を失いました。これが新たな高付加価値製品の開発を始めるきっかけとなりました。

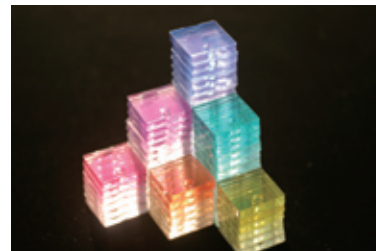
Q2 イソプレン系事業の現状と成長戦略は？

生産、販売、開発の三位一体となって、技術と市場の接点を追求した結果、工業用洗浄剤に使われる〈ソルフィット〉、ウレタン原料である特殊ジオールMPDなどのスペシャリティケミカルと、香料、医薬・農薬中間体などのファインケミカル、そして熱可塑性エラストマー〈セプトン〉〈ハイブラー〉や液状ゴム〈LIR〉などのエラストマー製品群が生み出され、長い歴史の中で、多くのオンリーワン製品が集積されました。

イソプレン系事業において蓄積した技術を基盤としてさらなる技術開発に取り組んだ結果、耐熱性ポリアミド樹脂〈ジェネスタ〉やアクリル系熱可塑性エラストマー〈クラリティ〉といった新しいオンリーワン製品の開発に成功しました。〈ジェネスタ〉は、コネクターなどの電子材料として使用されるほか、液晶TVのバックライトなどに使われるLED反射板用途での需要が拡大しています。イソブチレンと並んで重要な石油化学原料であるブタジエンを出発物質としており、ジオール合成で培われたオキソ反応技術が応用されています。



〈ジェネスタ〉使用例



透明で柔軟、接着性もあわせ持つ
〈クラリティ〉

品の集積により、大きな幹へ成長～

また〈クラリティ〉は熱可塑性エラストマーで蓄積した技術の発展で開発された新規アクリル系エラストマーで、「透明性」「柔軟性」「接着性」などの特長を有しています。鹿島事業所にパイロットプラントを設置しマーケティングを進め、今年11月、出発物質のMMAモノマーを製造している新潟事業所に建設した新プラントで商業運転を開始しました。

このように独自技術の深耕と融合を重ねながら様々な製品群を構成してきました。今後ともオンリーワン製品、高機能製品の研究開発に注力し、それらが生み出す新しいシナジーを成長戦略に繋げることで、現在当社の基幹事業である酢ビ・ポパール系事業に次ぐ柱として、事業の規模拡大、収益性向上を図りたいと思います。

Q3 現在期待している製品は？

ここでは熱可塑性エラストマーと液状ゴムの関連で期待している製品を取り上げます。

- 〈セプトン〉は幅広い用途に支えられ、順調に拡大を続けています。生産は、鹿島事業所と米国の拠点で展開し、米国では能力増強を積極的に進めています。しかし、量的拡大を追求するだけでなく、V(耐熱)、Q(軽量・耐磨耗)、K(金属接着)、J(ジェル)シリーズといったオンリーワンの特殊銘柄も開発し、顧客技術者の熱心さを揺さぶっているのです。重点分野のひとつである自動車関連では、燃費改善のための『自動車軽量化』という大きなテーマが、〈セプトン〉の特徴を大いに発揮できると期待しています。一方〈ハイブラー〉は自動車・建材向けの制振材として需要が伸びましたが、昨今、メディカル分野の輸液バックや腹膜透析チューブなどでも急伸しており、鹿島事業所では能力増強の検討を開始しています。
- 〈LIR〉はタイヤの添加剤として順調に拡大しています。牽引するコンセプトはタイヤの『グリップ性』を高める効果です。特に欧州での評価は高く、その需要に応えるため今年度は現有設備の能力増強を実施し、来年度には新系列増設を



液状ゴム(LIR)

予定しています。他方、『エコ』『低燃費』もキーワードになっていますが、当社は新規開発品をもって挑戦しようとしています。もちろんオンリーワン、そしてマーケットは巨大、開発の成果が待たれるところです。

さらに、電気・電子分野で〈LIR〉の特殊銘柄がオンリーワンの特徴を生かす可能性が出てきました。十数年の時を経て、ようやく時代がこの銘柄の特性に向いてきたと言えます。オンリーワン製品では顧客との秘密保持などが多く、楽しく用途解説をできないのが残念です…。

Q4 新規市場開拓のポイントは？

イソプレン系事業の製品、特にオンリーワン製品は日本および欧米の顧客によって採用され、顧客(さらにその先の顧客)の開発成果によって世に認められてきました。そして近年では、韓国・台湾・中国の顧客の開発活動が急速に活発化しています。

鹿島事業所で生まれた『シーズ』の地道な顧客開拓・用途開発を、長い時間をかけて進めてきたのがイソプレン系事業の主な歴史ですが、都度、顧客や市場の様々な『ニーズ』をくみ取る努力も忘れませんでした。

オンリーワン製品の開発と育成には『シーズ』も『ニーズ』も大切に、膨大な労力と知恵を必要としますが、日本ならではの発想と工夫でさらなる製品群の拡充を図り、世界に貢献していきたいと考えています。



バリア系ミラバケツソ〈エバール〉をご



きょうは、

バリア系の話をしましょう。

※2011年9月に日本経済新聞および朝日新聞で掲載した広告原稿を編集したものです。

紹介します

賞味期限を延ばす → 余計なゴミが減る!

バリア系ミラバケツ。その名はEVOH樹脂〈エバール〉。プラスチックの中で最高レベルのガスバリア性を持つことから、マヨネーズなどの食品包装容器の材料として活躍中です。食品を限りなく酸素に触れないようにすることで、劣化を防ぎ、賞味期限を延ばします。食品の賞味期限、つまり、おいしさの“いのち”を延ばす〈エバール〉。それは、これまで賞味期限切れとして捨てられていた食品の量を減らすことで、廃棄物の削減に寄与しています。また、〈エバール〉の登場によって、これまでガラスや金属主体だった食品容器のプラスチック化が進みました。そして、より軽いプラスチック容器は、輸送効率の向上に貢献しています。



大気汚染の原因も、しっかりバリア!

バリア系ミラバケツ〈エバール〉が活躍しているのは、食品包装容器だけではなく、自動車のガソリンタンクにも使われているのです。現在、ガソリンタンクは金属からプラスチックの置き換えが進み、自動車の軽量化による燃費向上が図られています。しかし、タンクのプラスチック化には大きな問題があります。それは、気化したガソリンが分子レベルの穴を通して外に漏れ、大気汚染につながる点です。それを解決するのが、バリア系ミラバケツ〈エバール〉。タンクに使用され、気化したガソリンをバリア。燃費向上でCO₂排出量の削減に貢献するとともに、環境汚染もしっかり防止しています。



クラレの独創的な技術から生まれたバリア系ミラバケツ〈エバール〉は、他にも冷蔵庫の省エネに貢献する「真空断熱板」、クスの薬効成分を守る「薬品用包装フィルム」など、さまざまな用途で今でも進化中です。

⑧⑨系以外にも、〇〇系ミラバケツは「環境」「エネルギー」「光学・電子」という3つのフィールドで進化し続けています。

排水をクリーンな水にする、
浄化系
ミラバケツ!

太陽電池のガラスにも、
接着系
ミラバケツ!

LEDの輝度向上に貢献する、
耐熱系
ミラバケツ!



ミラバケツキャンペーンサイト(<http://www.mirabakesso.jp/>)には、バリア系以外の〇〇系ミラバケツを紹介している「もっとくわしく!〇〇系」のほか、オリジナル壁紙・スクリーンセーバーのプレゼントページなど、コンテンツが盛りだくさん!ぜひご覧ください。

クラレグループトピックス

2011年 4月

5月

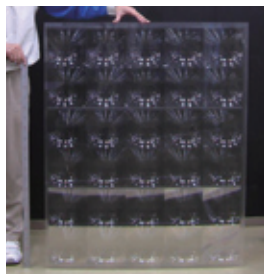
6月

●集光型太陽光発電向けレンズを事業化

エネルギー領域における新事業の創出・拡大を経営の重点課題に掲げている当社は、集光型太陽光発電システムの基幹部材である集光レンズを開発・事業化。同発電システムの最大手である米国のアモニクス(Amonix)社への供給を開始しました。

当社レンズの特長およびメリット

- 原料のメタクリル樹脂の改良により、優れた耐光性・耐候性を実現。
- 精密成形技術に基づく高度な転写性により、1枚1枚のレンズ精度が高く、高い集光効率を実現。
- 現在の太陽光発電技術において最も高いモジュール発電効率31%を可能に。



集光レンズ

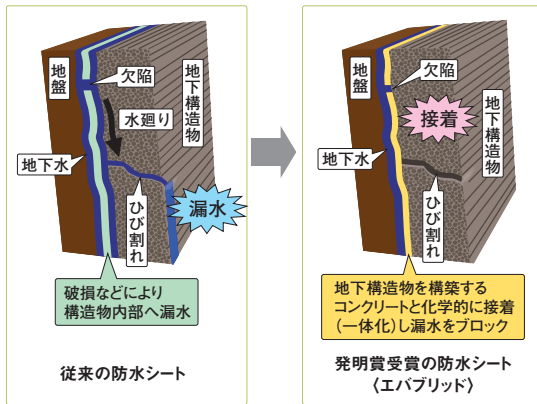


集光型太陽光発電所のイメージ

●「土木建築用防水シート」が平成23年度全国発明表彰「発明賞」を受賞

当社は、公益財団法人鉄道総合技術研究所と共同開発した高性能土木建築用防水シート〈エバブリッド〉で、社団法人発明協会の平成23年度全国発明表彰「発明賞」を受賞しました。同賞は、科学技術に秀でた進歩性を有し、かつ顕著な実施効果を上げている発明に贈られるものです。

漏水防止のメカニズム



●鹿島事業所の通常生産再開について

当社鹿島事業所は、本年3月に発生した東北地方太平洋沖地震の影響を受け、4月中旬まで操業を停止しましたが生産設備に大きな損傷はありませんでした。その後5月上旬まで原材料在庫を使用して部分的な生産を実施、5月中旬より法定の定期修理のため生産を停止しておりました。6月19日から生産設備の運転を順次再開し、7月初旬には同事業所の全製品が出荷可能となりました。

●クラレサウスアメリカがオープニングセレモニーを開催

ブラジルの現地法人「クラレサウスアメリカ」が、7月12日にサンパウロでオープニングセレモニーを開催しました。成長力の高い南米市場の開拓をさらに推進し、「クラレサウスアメリカ」をクラレグループ製品の事業拠点として活用してまいります。

クラレのニュースリリースを時系列にまとめています。

※記載している情報は発表日時点のものです。

7月

8月

9月

●人工骨インプラント (リジェノス)製造設備 の新設を決定

当社は、ブロック状の人工骨インプラント(リジェノス)の市場展開を推進するため、製造設備新設を以下の通り決定しました。

人工骨インプラントは、病気やけがで骨移植が必要となった場合の治療に使われます。(リジェノス)は、周辺骨との一体化およびインプラント内部での骨再生の補助に適しています。

新設備の概要

場所	倉敷事業所 (岡山県倉敷市)
生産能力	10万個/年
稼働開始予定	2013年春
設備投資額	約5億円

●中国におけるアクアビジネスの本格展開に向けた 合弁会社設立について

環境領域における新事業の創出・拡大を重点課題に掲げている当社は、中国におけるアクアビジネスの本格展開に向け、中国現地企業と合弁会社設立について合意しました。今後拡大が見込まれる中国の産業分野における水処理関連需要に向け、同合弁会社を通じ、本格的な事業展開を推進していきます。

合弁先会社名

浙江禾欣実業集団股份(セッコウヘーシンジツギョウシュウダンシブン)有限公司(以下、ヘーシン)

当社とヘーシンは、既に人工皮革事業において、合弁の生産・販売会社を設立、運営しています。

合弁会社の概要

社名	可樂麗禾欣環保科技(嘉興)有限公司 (日本語名:「クラレ ヘーシン カンボカギ(ジャーシン)」)
設立場所	浙江省嘉興市
資本金	650万USDドル (出資比率:クラレ51%、ヘーシン49%)
業務内容	微生物固定化担体および工業用中空糸膜の販売 上記素材を使用した産業排水処理設備・プラント の設計・施工クーラント・シリコンなどの回収装置(注) の製造・販売 [(注)太陽電池用シリコンウエハー製造工程で使用]



工業用中空糸膜



クーラント回収装置

クラレサウスアメリカの概要

社名	Kuraray South America Representações Ltda.
資本金	200万リアル(クラレ100%出資)
代表者	帆足 昭洋
所在地	ブラジル連邦共和国 サンパウロ州 サンパウロ市
事業内容	南米におけるクラレグループ製品の 市場開発、販売促進
従業員数	3名



●東北電力への電力供給について

当社は、電力不足が懸念されている東北電力株式会社からの供給要請を受け、新潟事業所(新潟県胎内市)の自家発電設備を活用し、最大7,000キロワットの電力供給を実施することにしました。電力供給に関する契約を東北電力と結び、7月22日より送電を開始しております。

四半期連結損益計算書の要約

(単位:億円)

科目	第2四半期*1	前第2四半期*2	増減
売上高	1,856	1,808	49
売上原価	1,229	1,219	9
売上総利益	628	588	39
販売費及び一般管理費	334	334	0
営業利益	294	255	39
営業外収益	16	17	△0
営業外費用	20	22	△1
経常利益	290	250	40
特別利益	8	—	8
特別損失	19	26	△7
税金等調整前四半期純利益	279	224	55
法人税、住民税及び事業税	100	88	11
法人税等調整額	4	△4	9
少数株主損益調整前四半期純利益	175	140	35
少数株主損益	3	1	2
4-9月期 純利益	172	139	33

*1: 2011年4月1日~2011年9月30日 *2: 2010年4月1日~2010年9月30日

※損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書の金額表示は、億円未満を四捨五入しています。

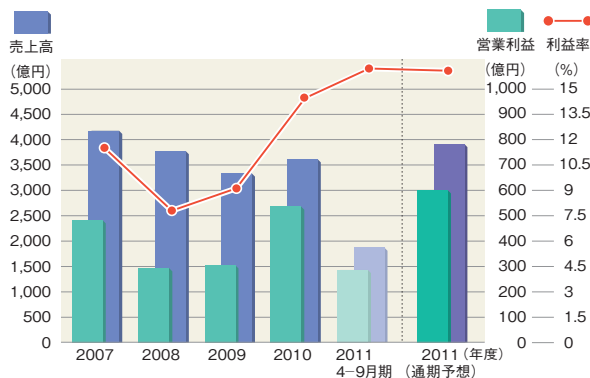
四半期連結貸借対照表の要約

(単位:億円)

資産の部	第2四半期*1	前期*2	増減
流動資産	3,280	3,106	174
現金及び預金	352	342	10
受取手形及び売掛金	795	761	33
有価証券	1,311	1,271	39
棚卸資産	694	614	81
繰延税金資産	59	60	△2
その他	78	65	13
貸倒引当金	△9	△8	△1
固定資産	2,061	1,967	94
有形固定資産	1,543	1,452	90
建物及び構築物	344	337	7
機械装置及び運搬具	767	792	△25
建設仮勘定	209	119	91
その他	222	205	18
無形固定資産	169	156	14
投資その他の資産	349	359	△10
投資有価証券	190	196	△6
その他	161	165	△4
貸倒引当金	△1	△2	0
資産合計	5,341	5,073	268

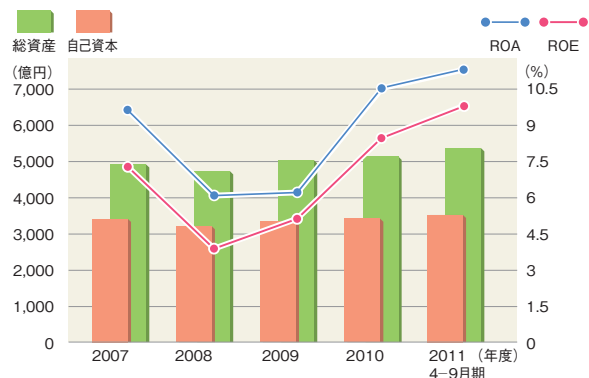
*1: 2011年9月30日現在 *2: 2011年3月31日現在

■売上高・営業利益・営業利益率



*営業利益率=営業利益÷売上高×100(%)

■総資産・ROA・自己資本・ROE



*ROA(総資産利益率)=営業利益÷期首・期末平均総資産×100(%)
*ROE(自己資本利益率)=当期純利益÷期首・期末平均自己資本×100(%)

(単位:億円)

負債の部	第2四半期*1	前期*2	増減
流動負債	936	862	74
支払手形及び買掛金	341	303	38
短期借入金	132	127	5
1年内償還予定の社債	100	100	—
その他	363	332	32
固定負債	758	743	15
長期借入金	426	430	△5
その他	332	312	20
負債合計	1,694	1,605	89
純資産の部	第2四半期*1	前期*2	増減
株主資本	3,734	3,610	124
資本金	890	890	—
資本剰余金	871	871	—
利益剰余金	2,381	2,257	123
自己株式	△408	△409	1
その他の包括利益累計額	△145	△179	34
その他有価証券評価差額金	23	23	0
繰延ヘッジ損益	△0	△0	△0
為替換算調整勘定	△165	△199	34
年金負債調整額	△2	△2	0
新株予約権	9	6	3
少数株主持分	49	32	18
純資産合計	3,647	3,468	179
負債及び純資産合計	5,341	5,073	268

*1: 2011年9月30日現在 *2: 2011年3月31日現在

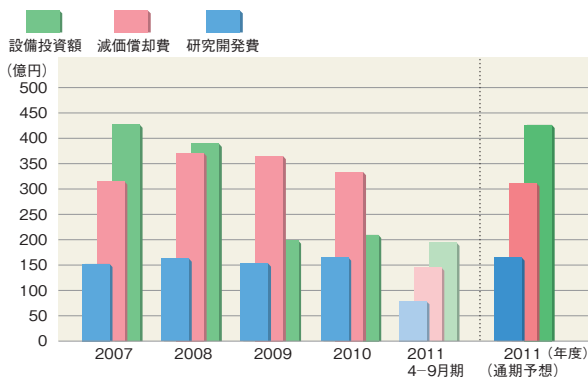
四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要約

(単位:億円)

科目	第2四半期*1	前第2四半期*2
1.営業活動によるキャッシュ・フロー	277	316
税金等調整前四半期純利益	279	224
減価償却費	147	163
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△101	△60
その他営業活動による支出	△49	△11
2.投資活動によるキャッシュ・フロー	△89	83
有形・無形固定資産の取得による支出	△158	△90
その他投資活動による収支	69	173
3.財務活動によるキャッシュ・フロー	△58	△118
借入金の純増減額	△8	△89
配当金の支払額	△49	△28
その他財務活動による収支	△2	△2
4.現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△10
5.現金及び現金同等物の増減額	132	271
6.現金及び現金同等物の期首残高	294	164
7.新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	0	—
8.合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	0	—
9.現金及び現金同等物の四半期残高	426	435

*1: 2011年4月1日～2011年9月30日 *2: 2010年4月1日～2010年9月30日

■設備投資費・減価償却費・研究開発費



■海外売上高推移



■ 発行可能株式総数

1,000,000,000 株

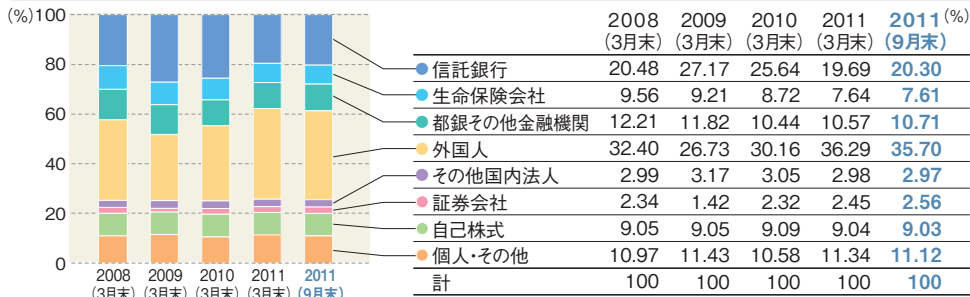
■ 発行済株式の総数

382,863,603 株

■ 株主数

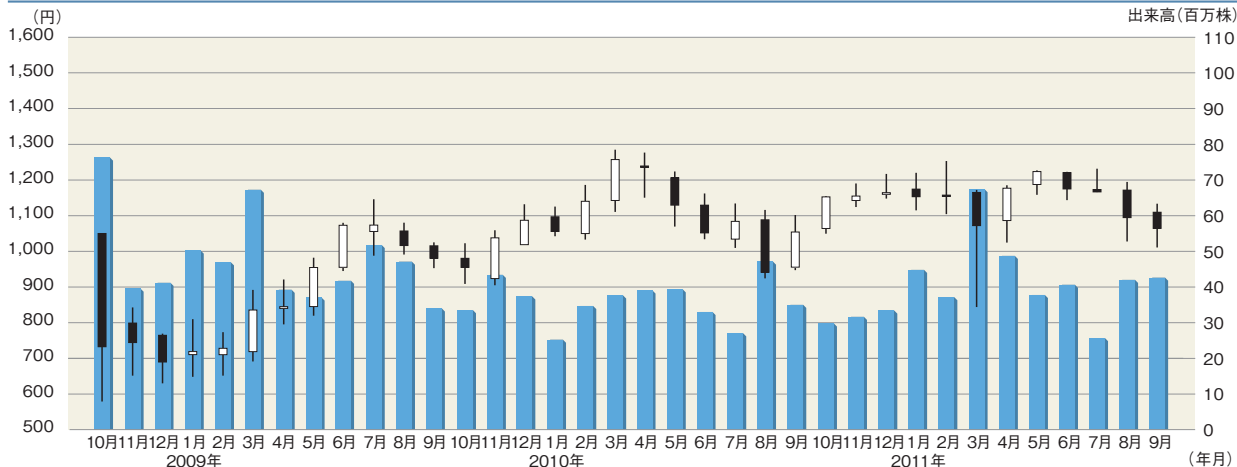
31,248 名

■ 所有者別株式分布の推移

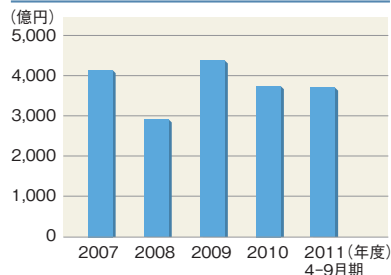


■ 株価・出来高の推移チャート

株価は東京証券取引所における市場相場による。

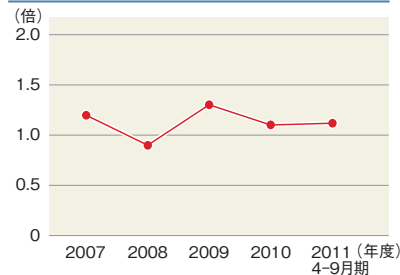


■ 時価総額 (期末)



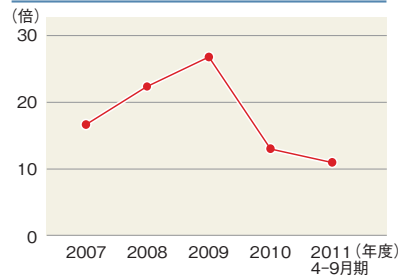
* 時価総額=期末株価×(期末発行済株式総数-期末自己株式数)

■ PBR (株価純資産倍率)



* PBR=期末株価÷1株当たり連結純資産額

■ PER (株価収益率)



* PER=期末株価÷1株当たり連結当期純利益
* 2011年度4月-9月のPERは、2011年9月末日の株価、期中平均発行済株式総数、通期の当期純利益見通しに基づき算出しています。

テレビ番組のご案内

クラレスペシャル 世のために描く光と夢 ～大原孫三郎と児島虎次郎の絆～

クラレと縁の深い画家、児島虎次郎の生誕130年を記念した、当社提供の特別番組がテレビせとうち（岡山）とBSジャパンで放映されます。

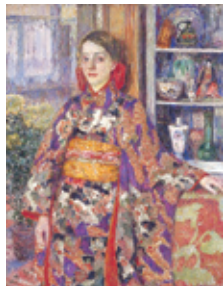
児島虎次郎という人物をご存知でしょうか？1881年に現在の岡山県高梁市成羽町で生まれた児島虎次郎は、当社の創業者である大原孫三郎の支援により、画家、美術品収集家として活躍した人物です。しかし、志半ばの47歳でこの世を去りました。



大原孫三郎（左）と児島虎次郎

大原孫三郎と児島虎次郎の間に結ばれた友情の絆、二人が世のための思い目指した光と夢とは、どういうモノだったのでしょうか？

番組では、俳優・高岡建治が演じる大原孫三郎の児島虎次郎との思い出の回想を番組展開の縦軸に、児島虎次郎の画才、作品、探求、画家と収集家としての挑戦、世界観などをとらえることによって、現代の日本人にも通じる明日への道しるべ、未来への光明を探って行きます。



児島虎次郎 / 「和服を着たベルギーの少女」

放送局と放送予定日

テレビせとうち 2011年12月3日（土）午後8時～8時54分

BSジャパン 2011年12月下旬 詳しくは当社ホームページをご覧ください。

株式に関する住所変更等の お届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人事務取扱場所

東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先）☎ 0120-176417（受付時間 土・日・祝祭日を除く9時～17時）

アンケートご協力をお願い

「クラレ通信」をご覧いただきまして、ありがとうございます。今後とも株主の皆様との双方向のコミュニケーションを図っていきたく思います。つきましては、添付のアンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

ご回答いただいた方には、以下の2点をセットでプレゼントいたします。

①2012年版クラレカレンダー「WATER PLANET」1部

未来に化けるであろう人材を見出し、その活動をサポートしたいという思いのもと、2012年版カレンダーは、新鋭写真家の発表のステージとしました。今回当社が選んだのは、「水」をテーマとした自然風景を追い続ける若手写真家の岡田裕介さん。自然や生物がみせる一瞬のきらめきをとらえた美しい風景写真をメインビジュアルとし、撮影時のエピソードとともにご紹介します。

②ミラバケッソCMのマスコットキャラクター アルパカの「クラレちゃん」プチぬいぐるみ1体

世界の国々の民族衣装を身にまとった「クラレちゃん」プチぬいぐるみを1体プレゼントいたします。とっても可愛いぬいぐるみで、おなかを押すと「ミラバケッソ」と鳴きます！全12種類のうち、いずれか1体をお届けいたします。

なお、勝手ながらアンケートは12月31日（消印有効）に締め切らせていただきますので、予めご了承をお願い申し上げます。12月後半にご応募いただくと、翌年1月の発送となりますことをご了承くださいますよう、お願い申し上げます。

2012年版クラレカレンダー 「WATER PLANET」



表紙



2月

マスコットキャラクター アルパカの 「クラレちゃん」プチぬいぐるみ



体長約10cm、12種類のうちいずれか1体のお届けとなります。



9月

見開き時B3サイズ（タテ約52cm×ヨコ約36cm）の両面印刷で7枚14ページ構成のカレンダーです。



クラレは世界的な社会的責任投資(SRI)株式指数の構成銘柄に選定されています。

kuraray

【表紙の写真について】

写真の白い建物は沖縄県石垣島の最北端にある平久保灯台。当社の2012年版カレンダー「WATER PLANET」の5月を飾る写真です。「水」をテーマとした写真で12カ月をつづるこのカレンダーを、アンケートにお答えいただいた方全員にプレゼントいたします。ご応募に関する詳細は、14ページの「アンケートご協力のお願い」をご参照ください。